

XANADU ZVR-31C

取扱説明書

<保証書付>



ZVR-31Cをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。
また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

保証書

この製品は、厳密な品質管理を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名		ZVR-31C	
●保証期間		※ お買い上げ年月日 年 月 日から 1年間	
※お客様	ご住所 〒		
	TEL () -		
※販売店	お名前		
	店名・住所 〒		
		TEL () -	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルマル**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を理解されたから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。

■絵表示の例

- △記号は気をつける必要があることを表しています (警告・注意)。
- ⊙記号はしてはいけないことを表しています (禁止)。図の中の表示は禁止の内容 (左図は分解禁止) を示し、一般の表示は⊙です。
- 記号はしなければならないことを表しています (強制)。図の中の表示は強制の内容 (左図は差し込みプラグをコンセントから抜く) を示し、一般の表示は●です。

人身の安全のためにお守りいただくこと

- **本機を濡らさないでください。**
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。
- **車を運転中に本機を操作しないでください。**
車の運転中に、本機の操作を行うことは交通事故の原因となります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。
- **ケースは絶対に開けないでください。**
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
- ⚠ **スピードの出しすぎにご注意ください。**
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。
- ⚠ **発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。**
これらの異常を検出した場合には、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。

- 1 -

けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと

- **衝撃や強い振動を加えないでください。**
衝撃や強い振動を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。
- ⚠ **高温時の取扱にご注意ください。**
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので、本機に触れる際には十分にご注意ください。
- **ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。**
シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。

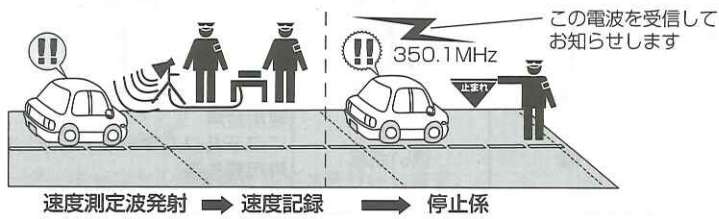
機能上の制約

- ⚠ **日本国内で使用してください。**
本機の仕様は日本国内となっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- **周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。**
前方に走行中の車 (特に大型車) がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車での使用時も受信しにくい場合があります。
- ⚠ **取縮レーダー波以外の電波を受信することがあります。**
取縮レーダー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

無線受信機能について

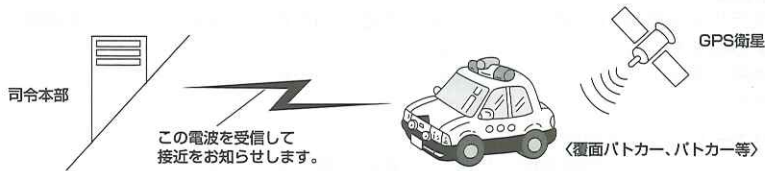
速度取締連絡波（取締無線）・無線自動車動態表示システム電波（カーロケ無線）を受信し、音声とランプの点滅で警告します。

■取締連絡波（取締無線（350.1MHz））とは



■カーロケーターシステム（カーロケ無線）とは

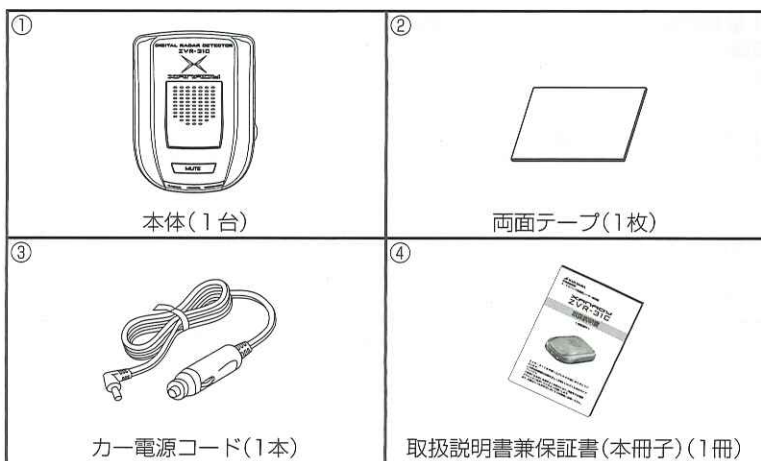
GPSで算出した警察車両などの位置情報を無線で定期的（間欠）に司令本部に送信するシステムです。



製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

- ①本体..... 1台
- ②両面テープ..... 1枚
- ③カー電源コード..... 1本
- ④取扱説明書兼保証書(本冊子)..... 1冊



無線受信機能

- 速度取締り現場の取締無線(350.1MHz)が受信可能(P10参照)
取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信し、警報音声でお知らせします。(受信内容を聞くことはできません。)
- カーロケーターシステム電波が受信可能(P10参照)
407MHz帯のカーロケ無線を受信し、警報音声でお知らせします。緊急車両の自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。また、対象車両の接近や離反を判断し、音声でお知らせします。※一部地域や車両ではシステムが導入されていない為、受信することができません。
- トラップゲートモード搭載(P10参照)
一定時間内に取締無線・カーロケ無線を複数回受信した場合、ランプの点滅と専用アラームで取締りや検問などの可能性が高いことをお知らせします。

レーダー探知機能

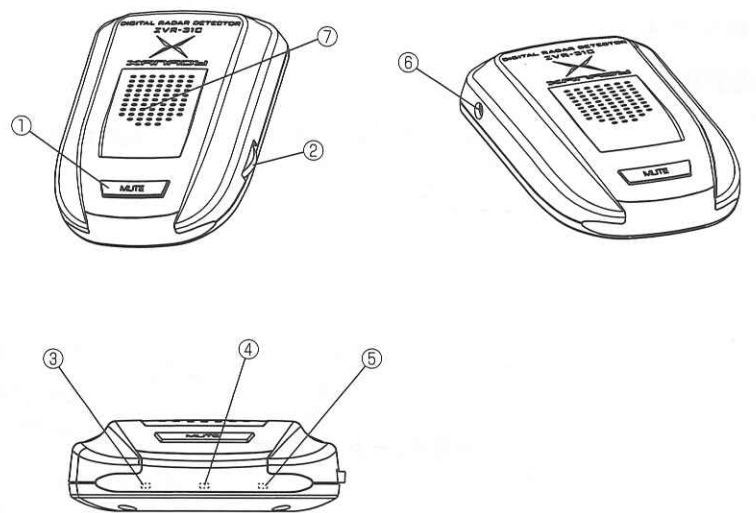
- X/K 2バンド対応
XバンドだけでなくKバンドにも対応。全てのレーダー式速度取締機に対応します。
- ステルス/新Hシステム対応
新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD.D.C.回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。
※ステルス識別モードはステルス型スピード取締りに完全対応しているわけではありません。先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。
- レーダーキャンセル機能搭載(P11参照)
カーナビの中には、取締りレーダー波と同じ周波数を漏洩していることがあり、これが原因でレーダー警報が鳴りっぱなしになることがあります。本機はこの不要な電波を取り除き、誤警報を防止します。
- オートミュート機能(P9参照)
一定時間レーダー波を受信し続けると、警告音の音量を自動的に小さくします。

その他

- ミュート機能(P9参照)
警報中の警告音を一時的に消音することができます。

各部の名称

<本体部>

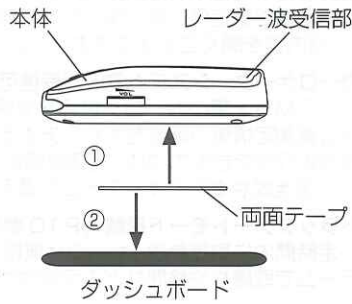


- ①ミュートボタン..... 警告音のミュートやアラームテストを行います。(MUTE)
- ②音量調節つまみ..... 警報アラーム音やガイド音声の音量を調節します。(VOL)
- ③レーダーランプ..... レーダー波を受信するとランプが点滅します。また、受信電波の強さにより、点滅の速さが変化します。(RADAR)
- ④電源ランプ..... 電源が入ると点灯表示します。(POWER)
- ⑤レシーバーランプ..... 取締無線及びカーロケ無線受信時に表示します。(RECEIVER)
- ⑥電源ジャック..... 付属のカー電源コードを差し込みます。
- ⑦内蔵スピーカー

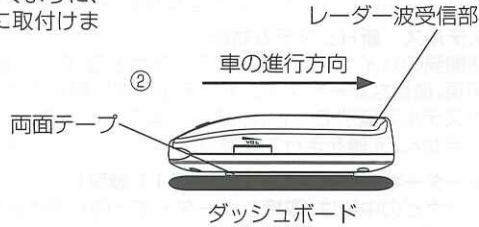
取付方法

1. ダッシュボードへの取付け

- ① 本体の裏面に、付属の両面テープを貼り付けます。



- ② 両面テープのもう一方の面でダッシュボードへ貼り付けます。この時、レーダー波受信部が車の進行方向を向くように、また、地面に水平になるように取付けます。



ご注意

- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- エアバックの近くには取り付けないでください。
- レーダー波受信部の上や前方に金属などの障害物がこない場所に取り付けてください。

警告

■ 高温時の取り扱いにご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので本機に触れる場合は十分にご注意ください

2. レーダー波を受信すると

走行中レーダー波を受信した場合は警告音及びRADARランプによりレーダー波の受信をお知らせします。

レーダー波が強くなる（発信源に近づく）につれて警告音及びRADARランプの表示が変化します。

また、ステルス波を受信した場合は通常とは異なる警告を行います。

(1) レーダー波受信時の警告動作

	受信レベル	RADARランプ	警告音
通常のレーダー波	弱	遅い点滅	長い間隔
	強	速い点滅	短い間隔
ステルス波	強	速い点滅	専用音声 "ステルスをキャッチしました。" 専用警告音 "ピロピロ..."



ご注意

- ステルス型取締りに対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも周囲の状況などによりステルス専用アラームが鳴る場合があります。

(2) オートミュート機能

レーダー波を一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります。

※レーダー波を受信した場合は20秒、ステルス波を受信した場合は10秒に設定されています。

(3) ミュート機能

警告動作中に警告音が不要になったとき（レーダー波の発信源がわかっているときなど）受信中のレーダー波が無くなるまで警告音をカットします。

操作方法

- ① 警告動作中に (MUTE) ボタンを短く押します
ミュート機能が働いて警告音が止まります。



- ② ミュート機能を途中で解除するには再度 (MUTE) ボタンを押します

使用方法

- 本機は小型・簡単操作のレーダー探知機です。初めてお使いになる場合など、わずらわしい各種設定をしなくても電源を入れるだけで安心してご使用できます。

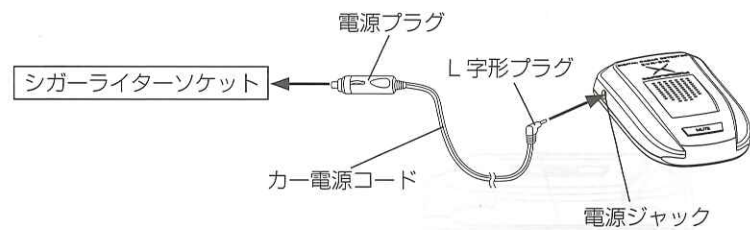
1. 操作方法

操作方法

① 電源を入れます

付属のカー電源コードのL字形プラグを本体の電源ジャックに、電源プラグを車のシガーライターソケットにそれぞれ差し込みます。

車のイグニッションキーをONにすると、本機に電源が入ります。

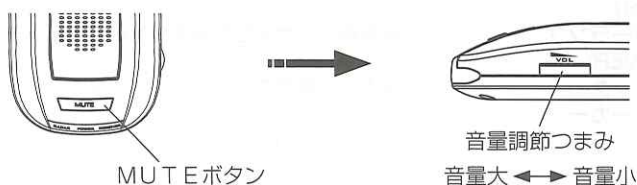


ご注意

- 車のイグニッションキーがOFFの時（エンジンが停止している時）は、使用できません。
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますのでよく掃除してから取付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

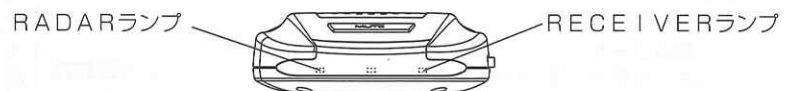
② 音量調節つまみで音量を調節します。

(MUTE) ボタンを押して警報のテスト動作をしながら、音量の調整をします。



3. 取締無線およびカーロケ無線を受信すると

取締無線（350.1MHz）及びカーロケ無線（407MHz帯）を受信すると、RECEIVERランプと音声でお知らせします。



(1) 取締無線（350.1MHz）の受信

取締無線を受信すると、ガイド音声“ピンポーン、取締無線をキャッチしました、注意してください”とRECEIVERランプでお知らせします。

(2) カーロケ無線の受信

407MHz帯のカーロケ無線を受信すると、受信状況に応じて車両の接近・離反を判断し、ガイド音声とRECEIVERランプでお知らせします。緊急車両の自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。

受信内容	ガイド音声
初回受信	ピンポーン、カーロケをキャッチしました
接近	ピンポーン、緊急車両が接近しました
離反	ピンポーン、緊急車両が遠ざかりました

(3) トラップゲートモード

一定時間内に取締無線とカーロケ無線を複数回受信した場合は、取締検問の可能性が高いと判断し、ガイド音声“ピンポーン、検問に注意してください”とRADARランプおよびRECEIVERランプの点滅でお知らせします。

ご注意

- カーロケシステムが配備されていない地域や緊急車両もあります。また、配備されている場合でも常に電波をだしているとは限りませんので、緊急車両が接近してもお知らせできない場合があります。
- 本機では、取締無線の受信警報の場合でもガイド音声のみの案内となります。無線の交信内容を聞くことはできません。
- 受信警報がなくても取締りや検問が行われている場合がありますので、ご注意ください。

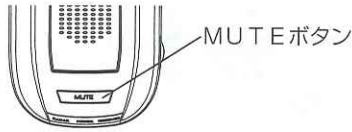
4. レーダー誤動作キャンセル機能

カーナビなどから漏洩する電波が原因で、レーダー探知機が誤動作する場合は、この不要な電波をメモリーしキャンセルすることで、誤動作を防止します。

(1) レーダーキャンセルの登録

操作方法

- 1 誤動作による警告動作中に **(MUTE)** ボタンを3秒間押します。音声で“不要な電波を削除します。”とお知らせします。



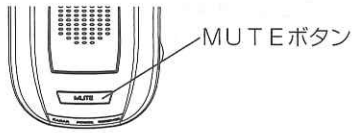
- 2 レーダーキャンセル登録値としてメモリーします。

ご注意

- レーダーキャンセルは最後に登録した1波のみメモリーします。それ以前に登録したレーダーキャンセルの値は削除されます。
- 登録無効の場合は“ブブツ”とエラー音でお知らせします。

消去方法

- 1 **(MUTE)** ボタンを押しながら電源を入れます。シガープラグを抜いて一度電源を切ってから、MUTE ボタンを押した状態で、シガープラグを再度差し込んで電源を入れます。



- 2 登録したメモリーを消去します。“ピッピッピ”とブザー音でお知らせします。

故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症状	原因
電源が入らない	●カー電源コードを差し込んでいない (P8) →カー電源コードを差し込んでください
警告音がしない (音が出ない)	●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない ●取締準備中または終了後などでレーダー取締機に電源がはいっていない
取締以外で警告が でる	●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器が影響している場合があります
取締現場で連絡無線が 受信できない	●取締現場で常に無線による連絡が行われているわけではありません
警告の途中で警告音が 小さくなる	●レーダー波を一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります (P9)

主な仕様

◇レーダー受信部

- 受信周波数……………Xバンド/Kバンド
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイン

◇無線受信部

- 受信周波数帯……………350.1MHz (取締無線)
407MHz 帯 (カーロケ無線)
- 受信方式……………ダブルスーパーヘテロダイン

◇外観・一般

- 電源電圧……………DC 12 V
- 消費電流……………待機時 15 mA以下
最大 220 mA

- 動作温度範囲……………-10℃~+60℃
- 外形寸法……………60(W) × 20.5(H) × 80(D)mm (突起部除く)
- 重量……………55 g

●保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の異常電源(電圧、周波数)及びその他天災地変による故障および損傷。
 - (ニ) 保証書のご提示がない場合。
 - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本保証書は、日本国内において有効です。

■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書(本書に刷り込まれています)は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される時はまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

■保証期間中は:保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは:お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

●あらかじめご承知いただきたいこと
修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。
また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご承知ください。

●商品についてのお問い合わせは

マルハマサービス フリーダイヤル 0120-08-1114
携帯電話よりおかけの方は TEL 045-251-2687